

第2期行財政改革プログラム 個別取組工程表

所管項目	総務		局	行政	部	情報化推進	課
	3-3		情報システム統合基盤の構築				
実施内容	平成23年度に策定した「情報システム最適化プログラム」において、情報化推進課の所管するシステムに適用し、定量（経費）的効果を出した「サーバ統合」及び「ネットワーク統合」の取組みを進展させ、各部門システムに拡大することで、より一層の全体最適化をめざす。具体的には、各部門システムを収容でき、システム間に共通する機能・機器を備えた『統合基盤』を、まずは、情報化推進課が一括調達し、その後、各部門システムは、サーバ等のリース切れやOSのサポート終了等のタイミングをもって、順次、統合基盤への移行を図る。これにより、これまでシステム単位で調達していた機器費用の総額は、統合基盤構築によるスケールメリットによって低減されるとともに、従来、業務所管課が個別に行ってきた機器にかかる各種の業務（調達・保守・障害対応等）も情報化推進課に集約することで軽減される。なお、ネットワーク統合についての取組みは、統合基盤導入に必須となるネットワークを制御する基幹部分の機器統合に注力し、統合基盤構築の一環として推進する。						
目標	平成26年度 基幹ネットワーク機器の統合・情報システム統合基盤構築 平成29年度 19システムの移行完了(平成26年5月時点) ※平成26年度末時点で移行対象となるシステムが1つ増え、現在20システム (平成27年度追記)						
工程	当初予定		26年度		27年度	28年度	29年度
			各業務システムの機器更改時期等にあわせ順次統合基盤に移行				
	進捗状況 (実績・見込)		26年度		27年度	28年度	29年度
各業務システムの機器更改時期等にあわせ順次統合基盤に移行							
26年度 7システムを移行済			27年度 5システムを移行済		28年度 5システムを移行予定		
数値目標			26年度		27年度	28年度	29年度
	-	見込	-		-	-	-
		実績	-		-		
実績	27年度	当初計画通り、5システムを統合基盤へ移行した。					
単年度の 効果額見込 及び実績			26年度		27年度	28年度	29年度
		見込	-		-	-	0.6 億円
		実績	-		28 百万円		
評価	27年度	B	課題	ハードウェア異常、ソフトウェア異常等により、多くの部門システムのサービスに影響が出る。			
			改善策	本市で導入している製品の障害事例を製造元に確認し、事前防止策を実施するように指導している。また、各機器の設定状況を再点検し、設定漏れ等がある部分に関して再設定を指示している。			
評価基準			A: 目標を上回って達成 B: 目標を概ね達成 C: 未達成				
備考							